



R.I. District2610 . ROTARY CLUB OF UOZU  
**魚津ロータリークラブ 会報誌**

2008 - 2009 年度 RI 会長 李 東建 (リ トンカン)  
魚津 R.C 会長 大村 雅紹

## 第 267 回 例会報告

2009 年 5 月 1 日

**ゲスト並びにビジター紹介** ゲスト なし ビジター なし 米山奨学生 リー・ホー君

**誕生祝** 4月15日 池上夫人 妻の誕生日のお祝いをありがとうございます。北山の桜の満開日が4月15日ですが、今年は5日ほど早く咲きました。今日は桜の代わりにアジサイでお祝いをしたいと思います。4月21日 谷川夫人 私の妻、薫子の誕生日を祝って頂きありがとうございます。本人からは「私の誕生日を誰も祝ってくれない、どうしたのこの家は...」と言われました。その日、息子から「お母さんおめでとう」との電話があり、こどもに助けられている次第でございます。

**会長挨拶** 大村会長 皆さんこんにちは。池上さんの奥さん、谷川さんの奥さんおめでとうでございます。



これからも元気でお過ごしになれる様にお祈りしたいと思います。

5月に入りまして大変さわやかな季節になりました。しばらく晴天が続くようでのぎやすい5月の幕開けかなあと考えております。5月に入り、再来週には金沢において地区協議会がございます。まだ登録が間に合いますので早めに済ませて下さい。次の週の5月22日には釜山釜一の皆様方がお見えになられます。魚津クラブこそってお迎えしたいと思います。

今日は、「大てまり」と言う花を持ってまいりました。「小てまり」はもっと細かい花で、一昨日、市役所の前で市民の皆さんに小さい苗木で250本ほどお配りしました。日本で「やぶてまり」と言う花から改良されており、大体、2～4m位に成長して今頃花盛りとなります。

**米山奨学生** リー・ホー君 皆さんこんにちは。前月、学会があり京都へ行って来ました。京都は本当にきれいな町ですね。さすが天皇の故郷です。発表が終ってからいろいろな所を見に行き、とても楽しかったです。帰りに風邪をひきました。明日から長い休みが始まりますが私は部屋でのんびりするつもりです。



**幹事報告** 黒部、黒部中央RC 5月度の例会案内が来ております。

魚津市暴力追放運動推進協議会 開催の案内、5月21日(木) pm2:30、市役所大会議室

第29回しんきろうマラソン実行委員会 協賛の御礼

全日本大学女子野球選手権大会魚津実行委員会 協賛のお願い

富山大手町RC 新規誕生発会式 6月13日(土) 富山国際会議場、ポニージャックス記念演奏会あり、

チャーターナイトはANAクラウンプラザホテル、18:00～、登録されたい方は事務局へ

その他 来週の例会 大伴家持碑野外清掃活動、ジャンパー着用、最後の週は水族館アジサイの手入れ

**出席報告** 第2677回 出席者：31名 欠席者：3名 メイキャップ済：辻(浩) 中島

第2675回 メイキャップ：なし 出席率：変更なし

**ニコニコボックス** 羽田さん 5月5日 35回目の結婚記念日で、いつも新婚です。清水さん 魚津史に関する資料を寄付し、市長より表彰を受けました。寺崎さん 今月もニコボックス、沢山お願いします。

**委員会報告など** 広報委員会 谷委員長 「ロータリーの友」の紹介です。縦書き16ページ、定額給付金の使い方として全額NPO法人への寄付し難民救済に役立てる記事あり。皆さまも使い道のご検討を。横書き36ページ、ご投稿をお待ちしていますの内容あり。皆様の活動の情報あれば広報委員まで。

インターアクト委員会 野澤委員長 4月18日に地区の委員会があり、そのご報告しておきます。6月27日にインターアクトの地区協議会が砺波工業高校で行われます。砺波RCがスポンサークラブです。金沢星陵高校のインターアクトが休止になることが決まりました。

**本日の卓話** 杉野さん・・・【片貝川 四方山話】



皆さんこんにちは。魚津市を流れ、魚津市民の水源にもなっております片貝川、上流は、持光寺、横枕、道坂、島尻、黒谷、山女（アケビ）、平沢、東蔵、奥平沢となって行きます。北陸電力の第三発電所のところで分かれて、その上流に有名な「洞杉」、それと「蛇石」があります。

片貝川に関しては、立山開山、佐伯有頼の父、有若が開祖と言われておりまして、持光寺大徳寺の住職佐伯さんが、片貝川を登って南又谷の方から馬場島のルートを踏破されております。この前の北日本新聞に立山連峰を空から確認と言うのが出まして、まさにその跡がしのばれる写真でした。岩嶽寺の方の人は、立山開山は岩嶽寺から登った言う説ですが、魚津の方ではその歴史が残っておりまして、片貝川から馬場島へ出て立山ヶ原から雄山へ行ったと言う定説があります。

電鉄魚津からバスも出ていますが、山女（アケビ）について話をして見たいと思います。私は、なぜ山女と書いてアケビと言うのか以前から疑問を持っておりました。その地区の人もあまり詳しく存じておられないようです。バス停にもカナがふってありません。大辞典には、ヤマオンナと言うふりカナがついており、深山に住み怪を働くと言う伝説的な女、山姥（ヤマンバ）とも言うそうです。山の神と言うのもありこれは自分の奥さんのことです。山を守り、山を司る神様と言う意味です。山姫と言うのもあり、これも山を守り、山を司る女神とありました。さらにアケビの異称とあり、山に棲む鬼女とありました。木通と言うのもアケビの漢名だそうです。その木通は、生薬、利尿剤、消炎剤とすると言う事でありました。通草と言うのもあります。これは日本名でトオルクサと書いてこれもアケビの別称だそうです。果実は食用にし、つるは土瓶とかイスとかのいろいろなものに使うと言う事でございました。富山大百科事典（北日本新聞社）では、アケビ科の蔓性の落葉木。宇奈月の明日（あけび）山、あけび温泉、あけびの大桜などが少し載っております。それから日本地名大辞典（角川書店）の富山の部に山女（ヤマオンナ）、魚津市と書いてあるのが見つかりました。片貝川上流右岸の谷沿い、アケビ山山麓に位置する。地名はアケビの産地であった事によるとありました。大漢和辞典の山の部というところに人名・地名を合わせて1272もありました。そこに、山女（サンジョ）はアケビの異名ではあるけれど越中の国の地名だと書いてありました。富山県史では、アケビ、食物と地名である。山にある蔓性の食物とか書いてあります。こういう席ではばかりですが、実が開いたところが女性のそれに似ていると言われているとあり、その事を武隈さんに話をしておりましたら、昔、蝶六踊りとか盆踊りとかに「山のアケビは何見て開く、下のマツタケ見て開く」と言う文言があったそうです。

我が故郷を流れる片貝川上流の地名一つを取り上げても色々な歴史があり、雪絵の僧ヶ岳、大雪溪の毛勝山、我々の目に写るあの雪が、春、夏ともなれば片貝川に集まり、水田の水となり飲料水となって我々の生活を守ってくれている事を思えば、川の大切さ、自然の恵みに感謝せずにはおれません。 【以上】

